

# だんまりを決め込む磯崎社長と細沼所長!!

## 細沼所長に会談を申し入れる!

「新幹線メンテナンス東海株式会社」(SMT)の細沼正男大井第二事業所長が、3月8日の始業点呼で「最近バス停で『弱小組合』がビラを配っているようだが、もらわないように!」と発言したことは、前回のビラで紹介しました。

細沼所長は、私たちが発言の真意を確かめるために出した『申し入れ』に対して何ら回答しないどころか送り返してきました。

これを受けて、新幹線地本の成田委員長は直接細沼所長に対して電話で会談を申し入れました。

その内容の要旨を紹介します。

### 【主なやりとり】

成田: 私たちの質問の申し入れを送り返されたんですね。

細沼: わからない点もあったもので。

成田: そうですね、書面だけではわからないこともあると思いますので直接お会いして話しましょう。

細沼: なるほど。

成田: 明日、お会いできますか。

細沼: 明日からは、忙しいものです。

成田: それでは、いつがいいのですか。

細沼: 検討しておこたえます。

成田: それでは電話をお待ちしています。

## 細沼所長、居留守じゃありませんよね!

しかし、この電話の後、細沼所長からは何の連絡もありません。

組合側から何度電話しても「今日は休みです。」「今、出かけています。」「一度も電話に出ることはありません。まさか責任ある立場の方が、居留守を使っているとは思えません、ここまで続くともそれも疑わざるをえません。」

細沼所長! 自分の発言には責任を持ちましょう!

現場長が、無責任だと、現場で働く労働者は苦勞を強いられることになります。前回配布した私たちのビラをバス停では受け取らず、職場で部下に探させていたとの情報も入っていますが、まさか、そんな醜態をさらすはずはありませんよね。

## SMT、磯崎社長にも公開質問状!

SMT大井第二事業所の細沼所長が、対応不能に陥ったらしいので、私たちは、SMT本社の磯崎哲社長に対して、細沼所長の発言についてどういう見解を示すのかを問う「公開質問状」を出しました。

しかし、磯崎社長も「公開質問状」対処に窮したのか、全く答えることなくそのまま「質問状」を送り返してきました。(内容を確認したのか、開封したままの状態) 暴言を吐いておきながら、その発言に責任を持たない現場長。一つの現場を任せている管理者の言動について「知らぬ存ぜぬ」を決め込む社長。

こんな事では、会社組織の代表はつとまりませんよ。

私たち新幹線地本は、具体的な回答があるまでさらに追及します。

# 大規模地震に対応できる体制をつくろう!!

## 被災地に水の搬送を取り組む!

甚大な被害を東北・関東各地に及ぼした東日本大震災に心ある市民・労働者が「自分には何ができるか」と、自分に問いかけて全国各地で様々な取り組みをしています。

私たちJR東海労も被災地に飲料水を届ける取り組みをしました。大阪から東京までの4地方本部で4.6トの水を集めて、被災地に届けました。これからも、被災者の支援や復興のための取り組みが必要ですが、労働組合の組織力を発揮して奮闘します。



## 大津波警報発令、その時新幹線は走っていた!

東日本大震災では、私たちが目にしたこともない大津波によって多くの方々がお亡くなりになりました。そして、福島第一原発では非常用電源のディーゼルエンジンが飲み込まれ、今や『再臨界』の危機さえ危ぶまれています。

今回の大津波は、15m以上で場所によっては30mに達したともいわれ、正式な検証では、私たちが想像することもできない高さで破壊力になるかもしれません。今回の地震で気象庁は14時49分に岩手県から福島県かけて大津波警報を発しました。そして、16時08分には茨城県から静岡県にかけてと和歌山県・徳島県まで大津波警報が拡大されています。

しかし、東海道新幹線は18時26分に運転再開しています。東海道新幹線が走る神奈川・静岡に大津波警報(3m以上が予想)が発せられている最中に運転が再開されているのです。

私たちは、新幹線鉄道事業本部(幹鉄事)との経営協議会で質しました。幹鉄事の回答は、警報、自治体のハザードマップ、構造物の高さなど総合的に判断したというものでした。また、気象庁が発表する「津波注意報」「津波警報」「大津波警報」などに対応したマニュアルは、新幹線には存在しないことも明らかになりました。

私たちは、地震発生の約45分後には東北地方に大津波が来ているのを尻目に新幹線運行再開をしたことは問題があると指摘し、大規模地震に対応したマニュアルづくりを急ぐよう会社に強く求めました。



JR東海労働組合新幹線地方本部

東京都中央区八丁堀 2-1-2

TEL:03-3551-2240 Fax:03-3551-2246

E mail : jrcushinkansen@yahoo.co.jp